

風水害に備えましょう



2022.8 粕屋北部消防本部

風水害対策の要諦

毎年、豪雨や台風等により全国各地で洪水や土砂災害（風水害）が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が奪われています。特に福岡県では、2017年の九州北部豪雨から2021年（昨年）まで、全国で唯一、5年連続で大雨特別警報が発表されています。

一方、風水害は突発する地震等とは異なり事前の準備が可能です。現在、比較的早い段階から自治体が避難情報を発令し、住民に避難を促しているところです。

風水害から命を守るには、災害が発生する前に迅速に避難することが大切です。しかし、過去の災害では避難指示等が発令されているにもかかわらず避難が遅れ多くの住民が犠牲になりました。

関係機関から発信される情報をいかに住民の皆様が活用できるかが風水害から命を守る生命線です。そこで、住民の皆様にも前もって考えていただきたいことは、自分が住んでいるところが川に近いのか、崖のそばなのか、どのような地勢であるのか、また、どのような災害が起こる可能性があるのかを把握することです。

そして、その時に役に立つ情報はどのようなものがあるのか、その情報はどのようにして入手するのか、命を守るにはどのような方法があるのか、その方法が避難行動とすれば、どのタイミングでどこに逃げるのかを考えておくことです。

同じ区域に「高齢者等避難」や「避難指示」が出ても、家が高台にあるのか平地にあるのかで事情が異なりますし、川に近いか崖に近いかの条件でも違います。また、家族構成によっても避難するタイミングが異なります。行政が人それぞれの現況に応じた対応を指示することは不可能です。

いっどう動くかは個人の判断となります。風水害によって大きな被害が報道され、毎回のよう「こんなことは、この地域に数十年住んでいて初めてだ。まさかこんなことになるとは夢にも思わなかった」といったコメントを耳にします。このような事態に陥らないために、決して「他人事」ではなく「わがこと」として考えるようにしましょう。

いざという時の備えを普段から行っておき、危険な現象が予測されるときには躊躇せず早めの行動をとる。そのためには、防災マップ（ハザードマップ）を家族で情報共有し、しっかりと備えることが風水害対策の要諦です。



「防災マップ」、 「ハザードマップ」を確認しましょう！



※詳しくは、粕屋北部消防本部のホームページ上にある古賀市の総合防災マップ、新宮町ハザードマップのバナーから確認できます。

防災マップ、ハザードマップって何だろう？
教えてください キタ署長



土砂災害が発生するおそれがある区域や浸水が想定される区域が表示されているよ。
更に避難所の位置や避難する時のポイントなど、いざという時に備えるための情報が整理されているよ。
平時に防災マップ、ハザードマップを確認して、有事の際にどう行動するかを決めておくことが大切だよ。